

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-538610(P2004-538610A)
 【公表日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-050
 【出願番号】特願 2003-520018(P2003-520018)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 4/58 (2006.01)

H 0 1 M 4/02 (2006.01)

H 0 1 M 10/40 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 4/58

H 0 1 M 4/02 C

H 0 1 M 10/40 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 8 月 2 日 (2005.8.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

式 (a) $\text{Li}_y [\text{M}^{1(1-b)} \text{Mn}_b] \text{O}_2$ または (b) $\text{Li}_x [\text{M}^{1(1-b)} \text{Mn}_b] \text{O}_{1.5+c}$ (式中、 $0 < y < 1$ 、 $0 < b < 1$ 、および $0 < c < 0.5$ であり、そして M^1 は、1 種以上の金属元素を表す。ただし、(a) の場合、 M^1 は、クロム以外の金属元素である。) を有するリチウムイオンバッテリー用カソード組成物であって、

リチウムイオンバッテリーに組み込んで 30 mA/g の放電電流を用いて 30 および 130 mAh/g の最終容量で 100 回の完全充放電サイクルのサイクル動作を行ったときにスピネル結晶構造への相転移を起こさない O_3 結晶構造を有する単一相の形態であることを特徴とする、リチウムイオンバッテリー用カソード組成物。

【請求項 2】

(a) アノードと、

(b) カソードと、

(c) 該アノードと該カソードとを分離する電解質と、

を備えるリチウムイオンバッテリーであって、

該カソードが、請求項 1 に記載のカソード組成物を含む、リチウムイオンバッテリー。